

第 8 次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	漁業振興対策補助事業
-----	------------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等			
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	実施(補助)期間 自 継続 ~ 至 H22

担当部	農林水産部	担当課	林務水産課
担当係	水産漁港係	内線	2621 課 35020
関係課	青谷町支所産業建設課・気高町支所産業建設課		

総合計画			
基本計画	章名	第3章 交流と文化によるまちのにぎわいづくりと地域を支えるものづくり	
	節名	第2節 地域を支えるものづくり	
	細節名	第3 活気あふれる水産業の振興	
	施策名	担い手の育成	該当ページ
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン 9 新たな農林水産業の振興			
事業区分	新規	継続	施策 32-03-01

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	事業内容	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項
漁業後継者の育成を推進するとともに、鳥取ブランドの確立など水産業の振興を図る。	漁業振興対策事業 ・漁業共済掛金助成事業 ・青年熟年漁業士活動費補助 ・漁業担い手育成研修事業 ・湖山池稚魚放流 ・漁業経営開始円滑化事業 海のエコラベル取得助成(H20)	漁業振興対策事業 ・漁業共済掛金助成事業 ・漁業担い手育成研修事業 ・湖山池稚魚放流 ・漁業経営開始円滑化事業 海のエコラベル取得助成(H20)	漁業振興対策事業 ・漁業共済掛金助成事業 ・漁業担い手育成研修事業 ・湖山池稚魚放流 ・漁業経営開始円滑化事業 水産物流通対策事業 沿岸漁場環境保全事業	漁業振興対策事業 ・漁業共済掛金助成事業 ・漁業担い手育成研修事業 ・湖山池稚魚放流 ・漁業経営開始円滑化事業 水産物流通対策事業 沿岸漁場環境保全事業			(注1) 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。
安定した漁業経営を促進する漁業共済への加入を助成を行う。 ・漁業への就業を希望する青年に対し、実習等の研修を行う。 ・湖山池へコイ・フナ等の稚魚放流の助成 ・海のエコラベル取得認証費用助成 ・新規漁業事業者が新たに漁業開始に必要な漁船、漁具等をリースする。	湖山池稚魚放流 湖山池養殖実証試験事業(シジミ) 漁業経営開始円滑化事業 とっとり水産加工品づくり支援事業 燃油高騰対策関連施設整備事業						(注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。
事業の対 象 者 (交 付 先)	鳥取県漁業協同組合、鳥取県漁業共済組合、鳥取県釣船業協同組合、湖山池漁業協同組合						
事業費(百万円)	H19決算額	H20予算額	H21予算要求 予定額	H22予算要求 予定額	H20~H22合計		
百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	23	17	19	19	55		
財源内訳(177)	一般財源	10	6	7	7	20	
	国庫支出金						
	県支出金	13	11	12	12	35	
	起債(その他)						
目標値	活動の指標(アウトプット)	漁業担い手育成研修事業 対象研修生3名 研修日数405日(3名計)	漁業担い手育成研修事業 対象研修生3名 研修日数405日(3名計)	漁業担い手育成研修事業 対象研修生3名 研修日数405日(3名計)	漁業担い手育成研修事業 対象研修生3名 研修日数405日(3名計)		
	効果(アウトカム)	新たな漁業後継者数(新規漁業研修生受入数)	1人	1人	1人	1人	
特記事項							